

アジア連帯委員会（CSA） 第46回・臨時常任理事会 報告・議案



日 時 2022年4月18日(月) 13時30分～14時30分
場 所 ZOOM開催 ホスト会場アジア連帯委員会事務所

開会

I.【報告事項】

1. 主要活動報告
2. 「救援衣類を送る運動」意向確認調査結果

II.【協議事項】

1. 第1号議案 第37次救援衣類を送る運動について
2. 第2号議案 ラオス・ナラオ村小学校新校舎建設について

III.【連絡・確認事項】

1. 連合第93回メーデー中央大会・CSA出展について
2. 今後の予定

閉会

I. 報告事項

1. 主要活動報告(2022年3月23日～2022年4月15日)

- 3月23日(水) 第45回常任理事会・第23回評議員会開催
- 3月23日(水) 連合茨城橋本評議員打合せ(救援衣類2022輸送対策)
- 3月25日(金) JAM本部訪問木村常任理事打合せ(評議員会報告・救援衣類等)
- 3月25日(金) 第45回常任理事会・第23回評議員会事会HP掲載
- 3月25日(金) ラオス・ヌーソン氏コアテイヌン小学校点検出張ルアンパバン
- 3月29日(火) ラオス・フンペン氏打合せWEB(ナラオ村小学校新校舎建設費明細等)
- 3月30日(水) キャタピラー日本労組武井委員長来訪(小学校建設募金日録受領)
- 3月30日(水) 電力総連今井評議員意見交換(救援衣類・代替支援等)
- 4月1日(金) UAゼンセン本部訪問 田中常任理事/大濱監事意見交換(救援衣類等)
- 4月5日(火) ラオス・ヌーソン氏ZOOM打合せ(ルアンパバン出張報告等)
- 4月6日(水) シンフォニアテクノロジー労組訪問森岡委員長打合せ(小学校建設他)
- 4月6日(水) 日本通運東京営業所情報交換(海上輸送・コンテナ事情他)
- 4月7日(木) UAゼンセン海外プロジェクトオンライン報告会(事務局長・ヌーソン氏出席)
- 4月7日(木) サンティパープ高校生寮運営費報告受領
- 4月9日(土) 在日本ベトナム人協会主催「建国祝賀日交流祝賀会」(事務局長出席)
- 4月15日(金) 株アヴァンス・ドウ社打合せ(救援衣類2022輸送対策)

2.第37救援衣類を送る運動・意向確認結果

(1)常任理事組織

		「救援衣類を送る運動」に関する意向確認					2022/4/15作成	
		組織名	AorB	秋or春	代替案	その他意見	前回箱数	
常任理事	1	連合	A			A案が望ましいがB案も止むをえない		
	2	U A ゼンセン	A	秋		C S A 主軸事業であり継続実施 秋期集荷希望	2,528	
	3	自治労本部	B		文具や教材、楽器や衣装	衣類は労力やコストがかかるので継続は厳しい		
	4	電機連合	A	どちらでも		衣類を送ることは救済目的としているので大切		
	5	J A M	B				930	
	6	基幹労連	両方	秋		加盟組合の選択に一任		
	7	日教組	A	秋		衣類は中止でなく再開（継続）が望ましい		
	8	情報労連	B		現地の要望品。中古PC			
	9	連合東京	B		通学用がソ、運動用具	日本国内の余剰在庫処理問題も課題		

(2) 評議員組織

<別紙PDF>

注・評議員組織の産別加盟単組は、本意向確認調査には産別の意向に基づき対応する為、未回答となった。

(3) 集計・概要

総数 63 団体中		
A案が望ましい	18	45 %
	秋期	12
	春期	2
	その他	4
B案が望ましい	22	55 %
回答合計	38	
未回答	25	

Ⅱ. 協議事項

第1号議案

第37次救援衣類を送る運動について

1. 意向確認結果を踏まえたA案・B案の取扱いと基本方針について

A案（新方式による救援衣類を送る運動の継続）を望ましいとした回答は45%あり、この回答組織からの寄贈箱数は前回総箱数の60%以上を占めている。

意見欄には「CSAのルーツである基軸事業でもあり、支持者（組合員）参加型の活動でことから継続すべき」等、積極的継続支持の声が寄せられた。

また、集中回避の為の集荷時期は、春秋分散の調整が難しい事も明らかになった。B案(救援衣類は終了し新たな支援を行う)の回答も55%あり、新たな支援品に関してさまざまな品目の具体的提案も数多くあった。

以上の結果から二者択一とせず、下記の基本方針に基づき具体化を推進する。

- ①当面A案B案とも現状出来る最大限の支援実行を行なう。
- ②A案の救援衣類を送る運動については、コロナ禍の新たな輸送方式による実施となる為、輸送費精算方式の理解と倉庫の確定等、諸準備が整い次第の実施となる。
- ③支援国・支援組織（団体会員産別・単組）・個人会員等、CSAに関係する人々の賛同・了解が得られるように引き続き最善を尽くす。

2. 「第37次救援衣類を送る運動」A案の実施について

＊救援衣類の要請をタイ・ラオスから既に受けていることも踏まえ、また、意向確認結果を勘案し、前回の評議員会で示した新方式を一部変更し、以下の要領で実施する。

- ①集荷時期は2022年11月実施を目標に準備する。(秋・春2回実施の調整不調)
- ②集荷集中を回避する為、事前に衣類提供組織を確認の上、個別に集荷期間(11月第1週から第4週)を連絡する。
- ③集荷場所・倉庫は、都内より安価な関東近県とする。(現在千葉県内で調整中)
- ④救援衣類は、現地ニーズを再確認の上、限定した衣類のみとする。
- ⑤衣類箱数と輸送費募金は一体とする。＜箱数×輸送募金を最終精算方式＞
- ⑥提供衣類1箱と輸送募金は1箱2,000円以上とし、想定以上の輸送費が必要となった場合、産別会員には輸送募金再検討要請の可能性あり。
 - ・輸送募金根拠(A)5,600箱＜前回8,000箱の7掛＞ (B)輸送費7,600,000円
(C)保管費・仕訳8,800,000円 《(B)+(C)》÷(A)=2,930円 (1箱輸送費)
- ⑦段ボール箱に組合名の明記周知徹底を要請する。
- ⑧集荷場所の倉庫で、箱の所属(産別・団体)確認と不可品の仕分け作業を行い、荷受国の関税手続き等の完了後に順次搬出する。
- ⑨衣類の提供はなく、輸送募金を支援して頂いている団体会員へはその継続実施を要請する。

3. 教育支援募金運動(仮称)B案の実施について

(1) 新たな事業として、現在の高校生寮支援募金を「教育支援募金」とし募る。

ラオス・サンティパープ高校寮支援と併せて東南アジアの開発途上国へ学用品等を支援する。

- ①「教育支援募金」を原資として、当面は募金が一定程度の学習用品の購入が可能となった時点で、現地調達による学習用品などを寄贈する。
- ②当面はC S Aが建築したラオスの24小学校への寄贈を2023年度の実施を目指す。
- ③カンボジア、ミャンマー等へ現地調整と財政面の状況等が整うことを前提に、支援の拡大を推進する。
- ④寄贈品は教育支援を基本に、教材、文房具、スポーツ用品、文化・工芸等現地のニーズを把握しながら、適宜対応する。

(2) 今後の進め方について

- ①8月24日開催の第24回評議員会において、基本方針を議案上程し機関決定する。
- ②9月28日開催の第43回総会において、2023年度の事業計画においてキャンペーンの実施等具体的取組みを決定する。

第2号議案 ラオス・ナラオ村小学校新校舎建設について

1. 経過報告

- ①ナラオ小学校分校補修は現状報告と当該小学校からの要請を踏まえ、新校舎を建設し、C S A寄贈校・25番目校として着手することを3.23評議員会において決定した。
- ②建築費は補正予算の確認・設定により、着工に向けた準備が前進した。
- ③同評議員会においてC S Aとのジョイントプロジェクトとしてスポンサーを募った。
- ④4月6日シンフォニアテクノロジー労働組合から共同建設の申し出を受けた。

2. 当面の対策

- ①シンフォニアテクノロジー労働組合と協議の上、共同建設協定書・覚書の締結する。
- ②C S A、ラオス・教育省、ラオス建築会社との建設協定書の締結準備を行う。

Ⅲ.【連絡・確認事項】

1. 連合第93回メーデー中央大会・CSA出展について

と き 2022年4月29日(金) 開会10:30 11:30式典終了

ところ 東京都・代々木公園 CSA出展場所

<別紙>

2. 今後の予定

5月 救援衣類を送る運動 援衣類外務省後援申請、連合協賛申請

6月 ラオス・ナラオ村小学校建設協定書締結

7月 第37次救援衣類を送る運動 実施要領文書発信・送付

8月24日 13:30第46回常任理事会（連合会議室）

// 14:30第24回評議員会（連合会議室）

9月28日 13:30～14:30第47回常任理事会（連合会議室）

// 14:30～16:00第42回定期総会（連合会議室）

以上